

地域密着型金融の取組み状況（平成21年4月～平成22年3月）

鶴来信用金庫

1. 項目	ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 創業・新事業支援
2. タイトル	当金庫地区内商工会との合同研修会
3. 動機（経緯）	平成16年6月に、地域における企業再生、ベンチャー企業支援、中小企業者に役立つ情報交換などの分野にかかる連携を円滑にするため、相互に協力をすることにより地域経済の活性化と中小企業金融の再生を図ることを目的し、当金庫地区内商工会（6商工会）と業務連携・協力に関する覚書を締結。
4. 取組み内容	<p>（1）業務連携にかかる具体的方策                  （2）地域内における経済情報・動向                  （3）その他連携・協力にかかる必要事項                  （4）連絡会、研修会を年間2～3回程度実施                  （5）年末・年度末緊急相談窓口の設置</p> <p>・「最近の金融検査及び行政の現状について」（平成21年4月17日）北陸財務局より講師を迎え研修会を開催。商工会（5名）、当金庫（20名）参加。</p> <p>・「中小企業金融円滑化法に伴う商工会・金融機関における中小企業への経営支援について」（平成22年3月16日）石川県商工会連合会より商工調停士を講師に迎え研修会を開催。商工会（7名）、当金庫（20名）参加。</p>
5. 成果（効果）	<p>平成16年6月の「業務連携・協力に関する覚書」締結以後、当金庫地区内商工会との情報交換1回、合同研修会を12回開催実施する。</p> <p>・商工会・商工会議所との提携ローンの実績                  平成22年3月末残高           6件                   6百万円</p> <p>・商工貯蓄共済の実績                  平成21年度中取扱実績   21件           100百万円                  平成22年3月末残高   98件           329百万円</p> <p>・緊急保証制度の実績（21年4月～22年3月末）                  取扱実績                   96件   1,523百万円</p>
6. 平成22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>地区内商工会（6商工会）と業務連携・協力を図り、創業・新事業支援の対応能力向上のため商工会経営指導員及び当金庫職員の合同研修を継続的に開催し、地域経済の活性化と中小企業金融の再生を目指していきます。</p>

地域密着型金融の取組み状況（平成21年4月～平成22年3月）

鶴来信用金庫

1. 項目	ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 経営改善支援
2. タイトル	しんきんビジネスフェアの合同開催
3. 動機（経緯）	平成19年、20年に引き続き、平成21年10月23日に、地域の発展、再生・活性化に貢献することを目的とし、北陸地区信用金庫協会主催の北陸地区内18信用金庫合同により開催するしんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2009」に参加し、当金庫取引先から13社（15ブース）出展。
4. 取組み内容	<p>取引先企業や出展企業に対し、新たなビジネスチャンスを求める企業先などとビジネスパートナーとして更なるビジネスチャンスを広げるため、ビジネスマッチングのサポートを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年4月7日に新任営業店長及び希望するビジネスフェアに携わる担当役席者を対象に「コーディネーター研修」を開催。</li> <li>・平成21年9月12日に全営業店長が「事前マッチング情報交換会」に参加し「事前マッチング商談申込書」を交換し、フェア開催までの事前マッチングを推進。</li> <li>・平成21年10月23日のフェア開催当日に営業店職員が出展ブースで出展企業をサポート。</li> <li>・フェア開催後、事後フォローの推進を実施。</li> </ul>
5. 成果（効果）	地域企業に、他地域企業、異業種企業、大企業との商談の機会を与えることができています。
6. 平成22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	事前マッチングにより取引開始が4件、今なお商談継続中が75件あり、ビジネスフェア開催当日の商談のみならず、継続した事前マッチングの推進や事後フォローの推進を図り、取引先企業のビジネスマッチングによる推進策として引き続き積極的に取り組めます。

地域密着型金融の取組み状況（平成21年4月～平成22年3月）

鶴来信用金庫

1. 項目	ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 事業再生																																
2. タイトル	債務者区分ランクアップ見込先に対する支援																																
3. 動機（経緯）	債務者に対し業績回復に向けた財務内容の改善を図ることを目的として、取引先が経営の現状を正しく把握し、ランクアップに向けた支援・交渉を行う。																																
4. 取組み内容	債務者区分が要注意先・破綻懸念先の中からランクアップ見込先を抽出し「支援交渉記録」をもって実態把握を行い、例えば仕入れ等の見直し、経費削減、遊休不動産の利活用を提案し、結果として債務者区分のランクアップに繋げるための施策を検証し交渉する。 毎年5月までにランクアップ見込先を営業店にて抽出する。 毎年7月までに支援交渉記録に現在の債務者区分になっている主な原因や、経営改善計画案等を記載し提出する。 自己査定後に結果や課題を記載し再提出する。																																
5. 成果（効果）	<p>総数78先</p> <table border="0"> <tr> <td>内ランクアップ</td> <td>要注意先</td> <td>正常先</td> <td>9先</td> </tr> <tr> <td></td> <td>要管理先</td> <td>要注意先</td> <td>3先</td> </tr> <tr> <td></td> <td>破綻懸念先</td> <td>要注意先</td> <td>2先</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質破綻先</td> <td>正常先</td> <td>1先</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質破綻先</td> <td>要注意先</td> <td>1先</td> </tr> <tr> <td></td> <td>変動なし</td> <td></td> <td>53先</td> </tr> <tr> <td></td> <td>回収</td> <td></td> <td>4先</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ランクダウン</td> <td></td> <td>5先</td> </tr> </table>	内ランクアップ	要注意先	正常先	9先		要管理先	要注意先	3先		破綻懸念先	要注意先	2先		実質破綻先	正常先	1先		実質破綻先	要注意先	1先		変動なし		53先		回収		4先		ランクダウン		5先
内ランクアップ	要注意先	正常先	9先																														
	要管理先	要注意先	3先																														
	破綻懸念先	要注意先	2先																														
	実質破綻先	正常先	1先																														
	実質破綻先	要注意先	1先																														
	変動なし		53先																														
	回収		4先																														
	ランクダウン		5先																														
6. 平成22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>平成21年度は全78先をリストアップし支援・交渉を実施した。平成22年3月末による自己査定におけるランクアップを図るべく、本部、営業店、取引先の連携を密に取組み、債務者の実態把握に努めました。</p> <p>なお、課題として、リストアップされた支援先に対し企業支援が十分に発揮されているか、生かされているか検証する必要がある、交渉記録を時系列で作成する等により企業の改善計画進捗度合いや、成果を明確に確認できる態勢、整備が今後の課題となっています。</p>																																

地域密着型金融の取組み状況（平成21年4月～平成22年3月）

鶴来信用金庫

1. 項目	事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み
2. タイトル	つるしんME（ミー）サポート
3. 動機（経緯）	営業活動によるキャッシュフローを重視し、担保・保証に過度に依存することなく、事業価値を見極める融資を平成21年2月に新設し、平成21年2月～平成22年3月においても積極的に推進を図りました。
4. 取組み内容	対象顧客：当金庫営業地域内で事業を営んでいる法人 資金用途：新規、既存貸出、短期資金、長期資金いずれも対応可能 融資限度額：5,000万円以内 融資期間：5年以内 融資利率：個別案件毎の利率設定 保証対象：既存取引、新規取引ともに保証対象 担保：申込人が所有する機械設備（動産）をリース会社に譲渡担保として提供し、譲渡担保登記を設定 保証人：不要
5. 成果（効果）	つるしんME（ミー）サポートの実績 平成21年度中取扱実績           1件       10百万円 平成22年3月末残高           1件       10百万円
6. 平成22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	定量的な財務情報だけでなく、定性的な事業価値の本質を見極める「目利き力」を重視した、担保・保証に過度に依存しない融資を平成21年度も推進を図りました。今後も、中小・零細企業の特長や実態を踏まえ、金融の円滑化に引き続き推進します。

## 地域密着型金融の取組み状況（平成21年4月～平成22年3月）

鶴来信用金庫

1. 項目	<p>事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底          企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み</p>
2. タイトル	<p>人材育成への取組み</p>
3. 動機（経緯）	<p>取引先に対する経営相談・支援を積極的に発揮できる人材の育成を図るため研修会への職員の受講・参加。</p>
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・融資審査講座（平成21年4月）支店長代理1名が受講</li> <li>・営業店長講座（平成21年5月）新任支店長1名が受講</li> <li>・目利き力実践講座（平成21年7月）店長1名が受講</li> <li>・中堅管理者講座（平成21年9月）支店長代理1名が受講</li> <li>・中小企業経営改善計画作成研修会（平成21年10月）信金中金総合研究所から講師を迎え店長・次長・代理18名が受講</li> <li>・その他13講座受講</li> </ul> <p>外部研修終了者は、内部研修会にて職員への研修のためフィードバックするよう取組んでいます。          若手職員を対象にこれから覚えたい業務等をお互いに考え、教えあうことを目的とした「元気塾」を毎月開催。</p>
5. 成果（効果）	<p>企業の再生支援には、経営者と同じ目線で経営に対する適切な提案、指導、アドバイスを行い、決算書などの定量分析だけでなく経営者の資質、手腕、企業技術力を企業再生に活かし、定性分析に重点を置くことも大切であり、収益性ばかりでなく生産性、安全性、成長性等の他、経営者及び従業員の意識改革をさせることを各自認識しました。</p>
6. 平成22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>平成21年度は債務者区分ランクアップ見込先78先に対し、経営改善計画書を基に、目利き力により改善を図る。          なお、当金庫の大口先を中心に企業支援先として、10先が石川県産業創出支援機構と6先が商工調停士と継続的に再生支援に向け取組んでいます。          コンサルティング機能強化を図るべく、外部講師による中小企業経営改善計画作成研修会を継続開催するなど、今後も、人材育成のため研修会等に参加します。</p>

## 地域密着型金融の取組み状況（平成21年4月～平成22年3月）

鶴来信用金庫

1. 項目	地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 地域活性化につながる多様なサービスの提供
2. タイトル	まちの駅「獅子の里つるぎ」
3. 動機（経緯）	<p>NPO法人地域交流センター（東京）が提唱する制度で、鶴来商工会（ワーキング部会）が中心となり、平成19年8月から全国展開支援事業の一環として、白山市鶴来地区内の異業種連携と交流を深め地域の活性化を目的に石川県内では2番目として発足。</p> <p>当地に本店を置く当金庫としても、地域の発展・ボランティアと、もてなしの心で多くの人々が訪れたい町づくり活動に賛同し、業種はさまざまな44事業所とともに唯一の金融機関として参加。（平成22年3月現在48事業所）</p>
4. 取組み内容	<p>「まちの駅」の木製看板を店舗前に、パンフレットラックを店舗内に設置し、インフォメーションコーナー（年中無休）を利用した情報発信に加え、日曜ローン相談の開催やロビーなど休息の場を提供しながら、地域に対しての存在感を発揮するとともに地場産業・商店街等の地域ぐるみ活性化に取り組んでいる。また、職員全員が普通救命講習を受講し、救命技能を取得し「救命講習修了者施設」として安心のもてなしを提供できる「まちの駅」として持続的発展が可能な地域社会づくりに参加しています。</p>
5. 成果（効果）	<p>平成19年11月30日にまちの駅「獅子の里つるぎ」発足と同時に参加し、平成21年度は8月8日から9月21日にわたり白山比咩神社の合格絵馬引換え付「おったからパスポート」を販売、8月8、9日に「ミニSL合格号乗車会」に協賛したほか、9月15日から10月18日まで「おったから展&amp;珍品・絶品・希少品オークション」等を開催し、地域住民や来訪者が求める地域情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する空間施設として、ヒューマンステーションの役割を果たしています。</p>
6. 平成22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>平成19年11月30日（発足）以来、行事・イベント企画等は毎月1回ペースであり、積極的に参加し取り組んでいる。休憩所の金融情報を大型液晶画面による株価情報や金利情報などリアルタイムで表示しており、気軽な雰囲気のお店として評価が高い。唯一の金融機関として参加しており、金融機関ならではの企画・施策が今後の課題である。また、平成22年度の「第13回まちの駅全国フォーラム」大会候補地に白山市鶴来（旧鶴来町）が選任されたことに伴い、その準備・推進に取り組んでいます。</p>

地域密着型金融の取組み状況（平成21年4月～平成22年3月）

鶴来信用金庫

1. 項目	地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 地域活性化につながる多様なサービスの提供
2. タイトル	いしかわ事業者版環境ISO（本部、子会社を含む18店舗）取得
3. 動機（経緯）	環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築に向けて主体的な取組みを実践することが、金融機関の社会的責任として求められていることから、二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）排出量などの数値目標による自主行動計画の策定に併せ、石川県が独自に認定する「いしかわ事業者版環境ISO」に登録申請し、平成20年3月19日付にて認可を得て、平成22年3月認可を更新しました。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量（売上高当たり）は平成18年度を基準として平成22年3月末までの3年間で3%削減する。</li> <li>・廃棄物の削減とリサイクルを進める。</li> <li>・コピー用紙の使用量は平成18年度を基準として平成22年3月末までの3年間で3%削減する。</li> <li>・個人的な（家庭内）取組みを進める。</li> <li>・対外的な（商品等の）取組みを進める。</li> </ul>
5. 成果（効果）	平成21年4月から平成24年3月までの期間を環境保全に向けた具体的な活動実施期間と定め、ノー残業デー、ノーマイカーデーを設定するなどして、取り組みチェックシート、コピー用紙使用記録簿及びコピー用紙使用枚数報告書を利用し、効果を定期的（毎月）にとりまとめ、数値等で報告を求めるとともに、「もったいない運動」推進中のポスターを店内に掲示し、全役職員がエネルギーなどの削減に努力し、地域に取組みの輪を広げている。平成18年度を基準として、平成21年3月末までに6%削減を達成しました。
6. 平成22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>石川の森づくり海岸林保全事業植樹活動へのボランティア参加（平成21年6月28日 61名、平成22年2月28日 50名）</p> <p>手取川クリーン大作戦へのボランティア参加（平成21年7月1日 95名参加）</p> <p>石川県が企画した「パーク・アンド・レールライド」にCSRや環境問題の観点から、モニターへの参加（職員4名）に協力。（平成21年10月5日～11月27日）</p> <p>美しい森林づくり2009へのボランティア参加</p> <p>平成21年9月6日 11名 白峰御前山エリア</p> <p>10月2日 5名 金沢夕日寺エリア</p> <p>平成21年12月～22年1月 県民エコライフ大作戦へ参加</p> <p>CO<sub>2</sub>削減量 金庫1,443kg 家庭4,288kg</p> <p>平成22年2月19日 「いしかわ事業者版環境ISO優良活動表彰」を受賞。</p>